

## 15 千葉県／錦 広子(53歳)

思えば以前は、恋に恋するような恋愛をしてきた。  
自分の気持ちをコントロールできなかったり、  
相手の気持ちを疑ってばかりだったり。  
かなり一方的で身勝手な恋だった。

それなのに、君とは知り合ってからずっと友達だった。  
「好き」とか、ましてや「結婚しよう」とか言われた覚えがない。  
なぜ結婚できたのか未だに不思議だよね。  
そして、今なお友達みたい。とても居心地の良い場所なんだ。  
息子が生まれたときは、まるで戦友だったね。

ミルクもおむつも共に挑んできた。  
それでも、育休明けの共働きの子育ては、母である私に負担が  
増えて、私の怒りが爆発したこともあったね。  
でも、結果は君の勝利。宣戦布告に対して困った顔をするだけ。  
怒っているのが馬鹿馬鹿しくなって終結したの。  
悔しいけど、完敗と言わざるをえない。

最近は平日の休みが増えたので、二人でデートを  
楽しんでいるね。

自然をこよなく愛し、郷土史や建築に興味がある君に  
連れられていく先は、何の変哲もないところが多い。  
たまには、名所や観光地にも足を運ぶけど、  
こちらあまり期待していないので、不満はないよ。

そんな君を尊敬しているし、信頼している。  
だから、ずっと友達のように暮らせるし、  
この恋心は冷めることはないかな。

これから老夫婦になっても、仲良しの友達同士でいようね。

「信愛なる君へ」

錦 広子